



World Diabetes Day (世界糖尿病デー)

11月14日は、国連が2006年に認定した「世界糖尿病デー」です。
1921年に糖尿病治療に必要なインスリンを発見したフレデリック・バンティング博士の誕生日。
シンボルカラーのブルーは、国連色とどこまでも広がる青空の色から採用されました。
2006年12月20日、国連総会において糖尿病の脅威に関する決議が採択され、公式な国連デーとなりました。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフとした「ブルーサークル」が用いられます。

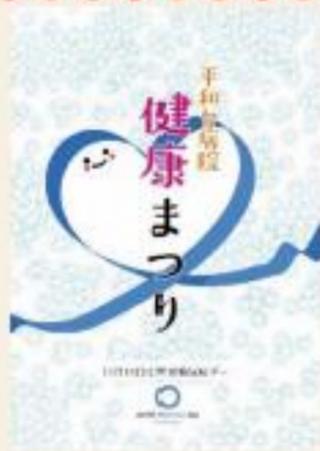
国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と団結を表す「輪」をデザインし、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのために団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

当院でもブルーにライトアップを行いました。





平和台病院 健康まつり



令和7年11月15日、平和台病院健康まつりを開催しました。
市民公開講座や、医師・看護師・栄養士への相談コーナー、血管年齢測定や血糖測定などの体験コーナーを行いました。
さらに、地域の歯科医師による歯の相談や口腔機能検査もご協力いただきました。
ご来場誠にありがとうございました。

市民公開講座

①「よく噛むことが健康を作る～お口と糖尿病の深い関係～」

土田歯科医院 宮崎地域糖尿病療養指導士 小川祐佳歯科衛生士



②「運動で血管は若返る?!」

～NO(一酸化窒素)運動で未来の自分をもっと明るくしませんか?～

平和台病院 健康運動指導士 日本糖尿病療養指導士 宮崎地域糖尿病療養指導士 海野陽子看護師



③「STAY YOUNG～若さを保つ生活術～」

公益財団法人 宮崎県健康づくり協会 健康推進部次長 糖尿病専門医・指導医 谷口尚大郎医師



各種相談・測定

血糖測定



歯の相談



療養相談



医師相談



バランスのよい食事体験コーナー



今回は、JADEC 手帳について紹介します



JADEC 手帳について

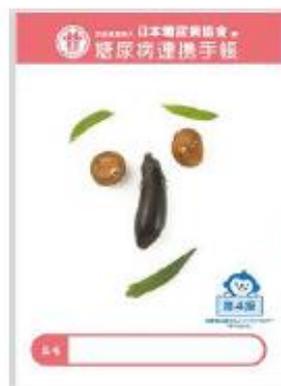
JADEC 手帳とは、糖尿病連携手帳のことです。
今回第 5 版に改訂され、名称が変更になりました。



糖尿病連携手帳は、医療機関で糖尿病と診断された際に医師から渡されます。
手帳を持参することで、医療機関間での情報共有が可能となり、急な入院時にも役立ちます。
また、患者自身が日々の健康管理を行うための重要なツールとなります。



これまでと違う点



糖尿病連携手帳から JADEC 連携手帳に変更となりました。上段に糖尿病、下段に氏名があると、〇〇さんは糖尿病ですよと言っているかのようで、個人情報の漏洩に繋がると考えられたそうです。

今回の改訂で、関連検査の頁は空欄を増やし、内視鏡検査、頭部 MRI、骨塩定量などの追加検査の結果を書き込めるようになりました。また、是非皆さんに読んで頂きたい“肝入り”のページは 34 頁アドボカシー活動/災害対策の項目であると紹介されていました

当院では、第 1 弾、第 2 弾の動画を作成し、手帳の検査項目のページの使い方や、内容について解説しています。糖尿病の枠を超えたとも言える健康管理手帳に改訂された第 5 版連携手帳を、皆様が便利に思い使っていただけると良いと考えています。

糖尿病連携手帳の説明動画を作成しました！
下記の URL 又は QR コードから閲覧できます。
ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/4lstj1D4HRA>

参考：日本糖尿病協会様



糖尿病看護認定看護師 柘木里美

発行元：医療法人社団 紘和会 平和台病院 広報委員会

〒880-0034 宮崎県宮崎市矢の先町 150-1

TEL:(0985)-24-2605 FAX:(0985)-22-0787

URL: <https://www.heiwadai.or.jp/> 令和 8 年 2 月 1 日発行

